

BIEN PRESENTS
A COTERIE MAGAZINE OF
TO.U.RA.BU.#02

R-18
FOR ADULTS ONLY



さ
か
な
お
お
か
よ
ぐ
ち
み
を

眩しいと
思った



神剣かあ



石切の旦那
大丈夫かい



嫉妬？

羨望…？

そして
おそろくは
少しの畏怖

やみを
およぐ
さかな

彼と

あの
刀と？

ぎゅ

…はあ

…っ

ぎゅ

こじ
なごてから

—あ

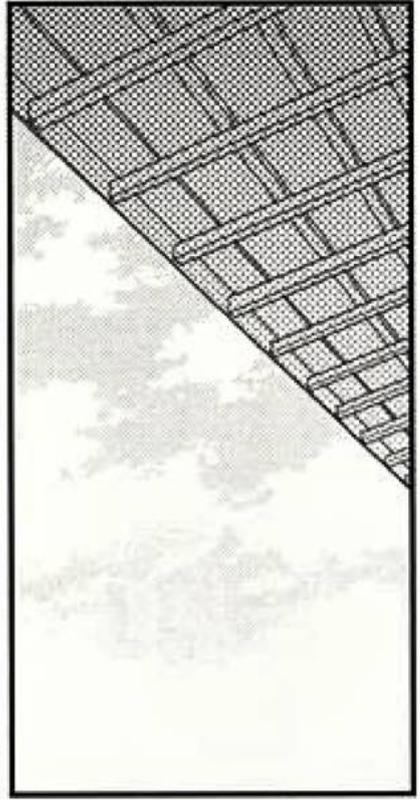
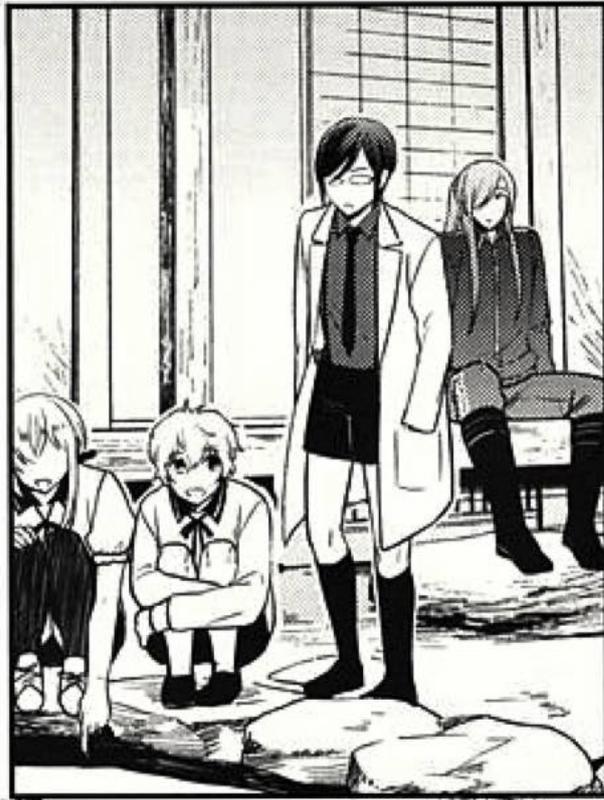
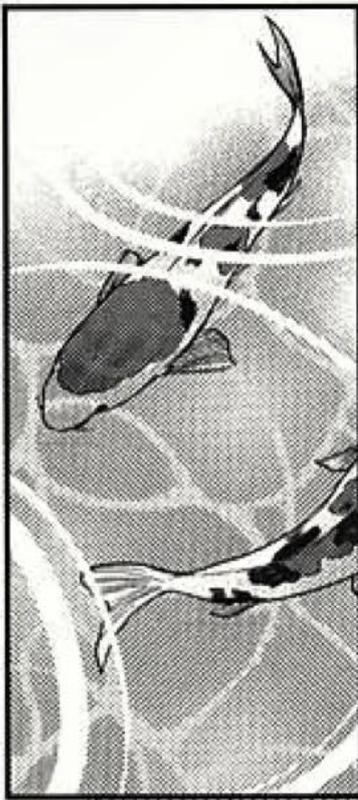
あ

ぐ

えい…

いくつか
気付いたことが
ある





「じつじつ
見てみるよ」

「皆それなりに
人間の形であるじつじつを
楽しんでるんだな...」





喚び出されたとき

いくつか得た
人間としての知識のほか

人間の形でない頃の
記憶（と言って良いかは
定かではないけれど）も
無い訳ではない



それでも
知らないことは
山ほどあったし

そうだった
情報も
そこかしこに
そして無限に
湧いている



今日の
『びっくり生き物
地球旅行』

主役は
今何かと話題の
深海魚です



深海に住む魚は…
暗闇でも生きて
いけるよう様々な
進化を遂げ……

ですが彼らは
水深の浅いとことで
揚げらるる……



水の中ですがも
暗い海底でしか
生きられないのか

面白けれど
難儀だなあ

そろそろ
夕食みたいだよ

今夜は
魚の煮つけだ



ははは
すまん
すまん

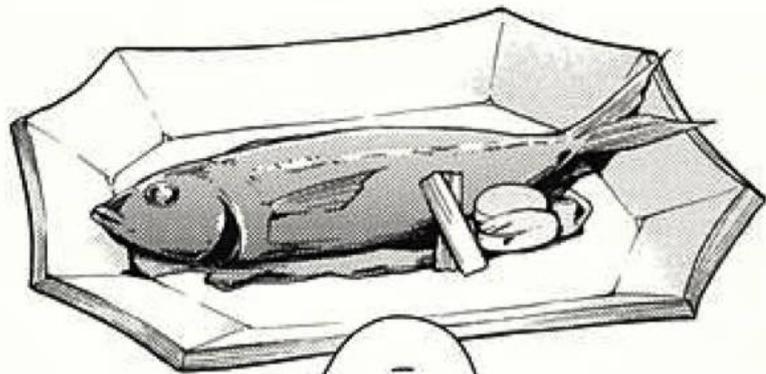
あーん
もーっ



わーい
お魚好き!



身も蓋もない
言いかたをして
しまえば



魚の腹を
暴いたものを
醤油で煮しめたもの

この魚も

水面より上は
怖かったのかな
なんて

おっ……

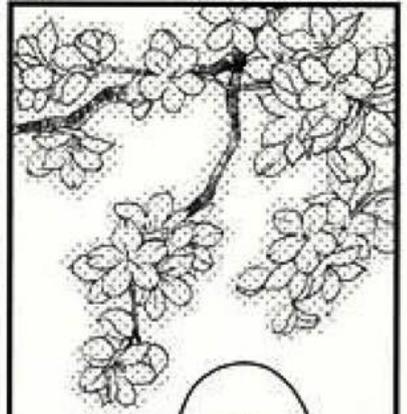
……





それ

どういう
意味だい



ねえ
君も

人間の形で
あることを
楽しんでいるのかな



楽しんでいない
...と言えば
それは嘘になる
だろうね



そのままの
意味だよ

邪魔を
しにきて

何を
言い出した
かと思えば...



新しい食材も
カマキミだよわ
あー！
ほら

ふうん...



主達が
愛でてきたもの
感じてきたもの

そういったものに
実際に人の身で触れ
感じる事ができる

新鮮なこと
ばかりだし

興味深い事も
多いだろう



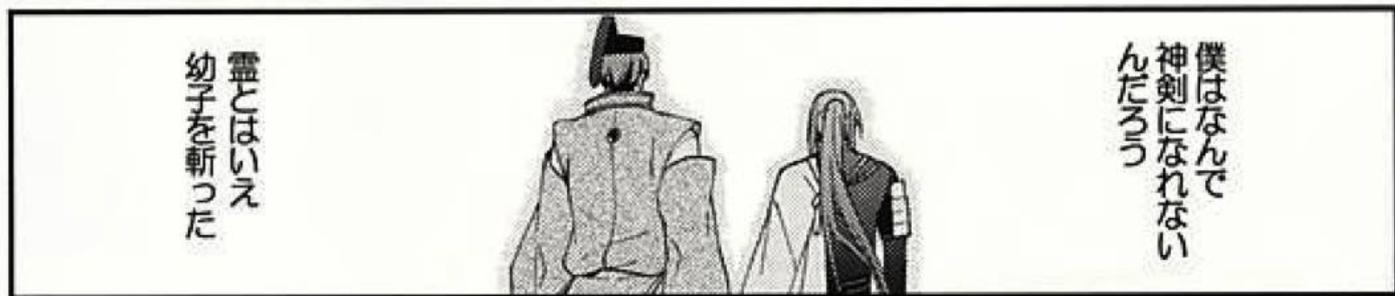
戦いは
楽しい…？

うんうん

高揚感？

あんなに高揚感というものは
不本意ながら私も
あったかも
しれないけれど

とても大切に
してもらっていた
期間もある



僕はなんで
神剣になれない
んだろう

霊とはいえ
幼子を斬った



やっぱり
それか

何で
あんなこと
言っちゃったかな

僕は
本当に神剣に
なりたいのかな

そもそも
人間の言っ
て本心って
なんだろ



だからこの
眩しさ？

腹の中を
暴かれるような

なんだか
よくわからなく
なってきたな…

せめて

おせ

うん…



遠征の
みんなは
お疲れ様だねえ



おや、
枕草子
かい

まさかあの桜
紙で出来てや
しないだろうね



今日は
雨だし

少し冷えるなあ

ああ
せっかく
急いで咲いた
桜が台無しだ



ふふ

流石

わかったから
早く自室に
帰り給えよ



つれないな
君は

おい

やめろ
腕をからめるな
気持ち悪い

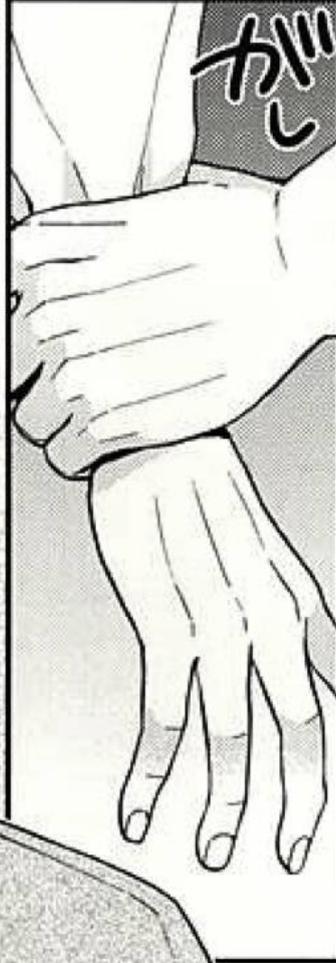
あたたかい
なあ...

あ
〜
〜
〜

字が
よれた

き







ちやうど
怒ってるっ

怖いなあ

所謂
嫉妬って
やつかな



あ

すまない

ん?



もしかして
君も
人間の形で
あることを
楽しんでる?

青江

クハクハ



あれ…?

ニヤヤ



人に迷惑を
かけては
いけないよ



拍子抜け…?

ということとは
僕は君に
嫉妬して
ほしかったのかな

まあ
それはそれで

ねえ

そんなことより
寒いんだ

いつもみたいに
温めたり
温められたり
したいなあ

人間
みたいになさ

お断り
するよ

疲れているし
早く寝たい

物ってる
のに

そんなふう
に
触るから
だろうね

人の体は
面倒なものだ

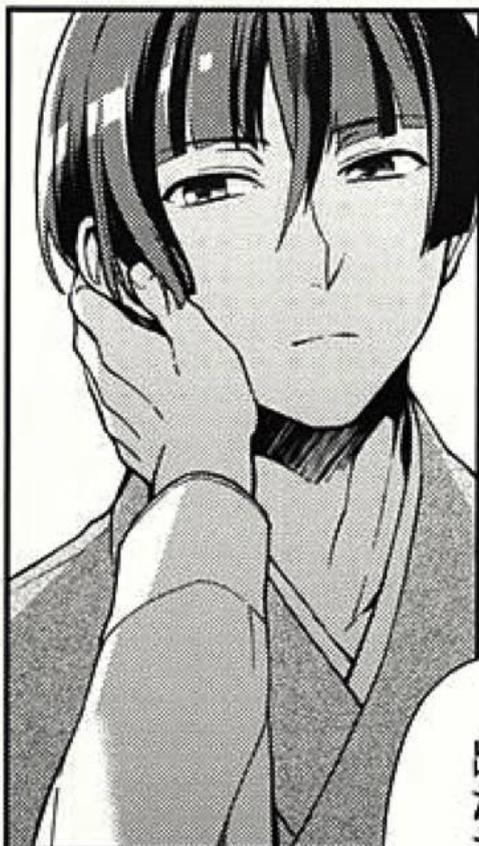
好きだよ

じゃあ
誘い方を
変えようか

人間が言う



って
実際は
どんな
感覚なの
かなあ



雰囲気が出た
だろうか？



ん



70
30

なんだ



あ



ちゃんと
乗り気じゃ
ないか…



ああ...
すまない
痛かったかな

そつだ
準備?
は...?

してるでも
思ったのかい...



油は?

たぶん...

そのへん



さつきまで
ちよつと
怖かったくせに

優しい

参ったなあ...

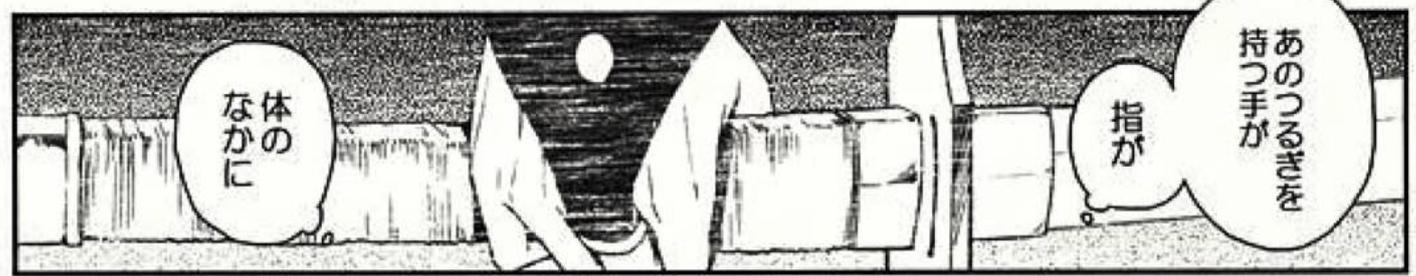


うわ



ぬる...

うわ



あのつるぎを
持つ手が

指が

体の
なかに



痛い?

...?

今更
罪悪感を
感じて

辛い
ものか...



ああ…

もう

早くして
ほしいな



…痛くて…
構わないよ

…むしろ
酷いくらいが

ちようど
いい…

と思う
なあ…



…多分まだ
入らないな

凄く痛いかも
しれない



どさ、

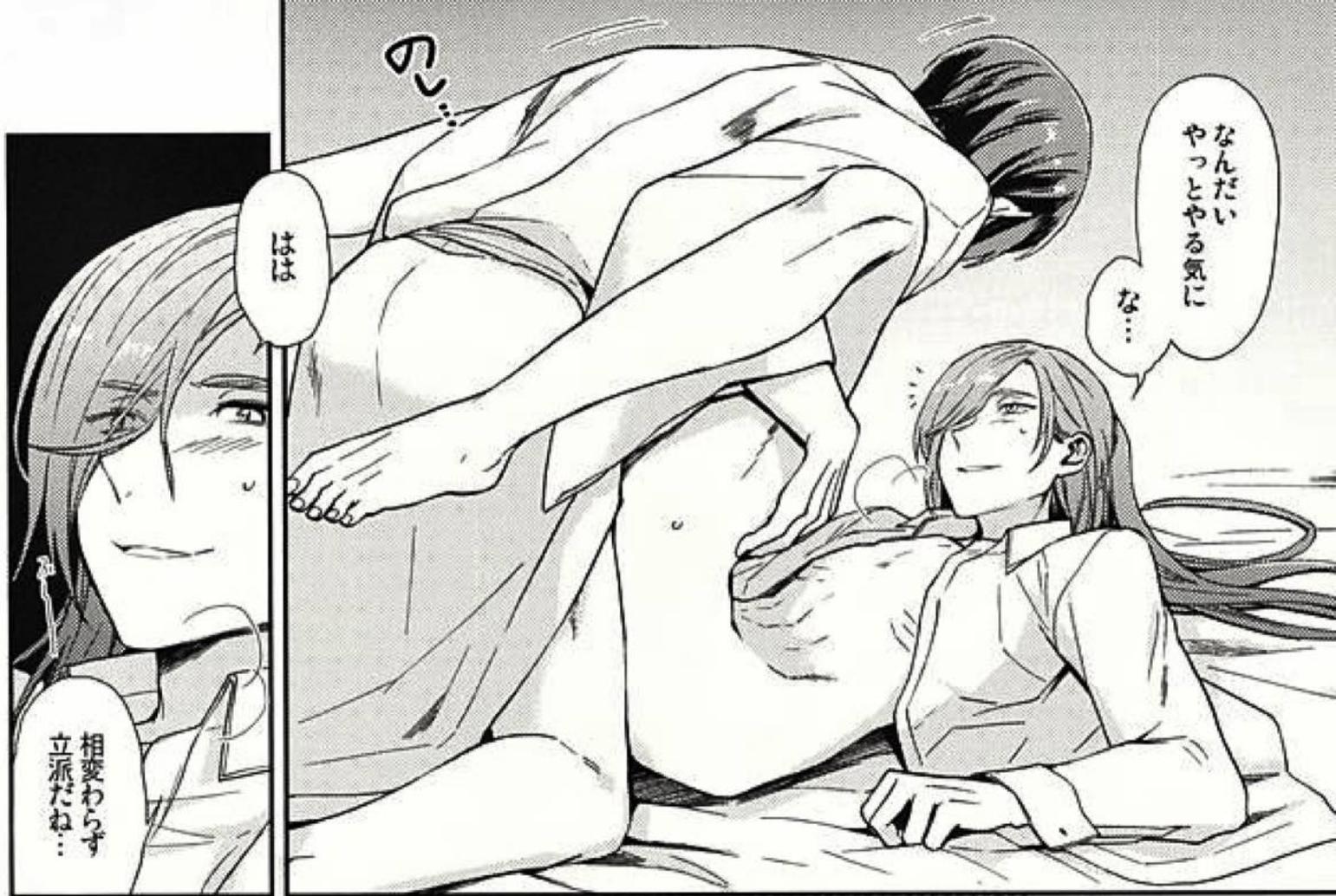
君に力じゃ
絶対勝てない僕に
敢えて酷くしない
ということだ

逆に
余裕や優越感でも
感じているのかな



それとも

!



なんだい
やっつとやる気に
な...

はは

ん...

相変わらず
立派だね！



痛...

だから
言ったんだ
けどな！

ん...

ん...



いっ
たん...

うん、
ちゃんと入った

動かそう

ぬ
は
抜い

聞いて
ない...ツ





なのに
嫌じゃないつて
どういふことかな

参ったなあ…



これじゃ
まるで

本当に
人間になって
しまった
みたいじゃ
ないか

：君は
本当に
酷いなあ

おへ



酷い位が
丁度いいと
言っただじゃ
ないか

そうだね
ぐうの音も
でないね…





……私も

少し…
悔しかったのかも
しれない

ん…?

なんでも
ないよ

おやすみ



夢を見た

見上げた水面は

あたたかくて
眩しくて

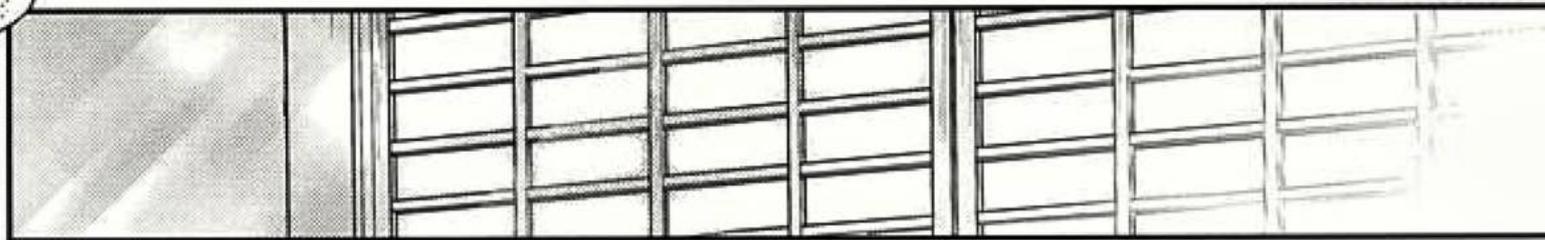
とても
魅力的に
見えたけれど

冷たい筈の
水底も

それはそれで
心地の良いもの
だった



もう少し
まだここに
漂っていたい
なんて





無理を
言うんじゃない

好きって
ことなのかなあ

うん

わかったよ



はいはい
貴様...

僕様さんだ

用もないのに
人の部屋に
入り浸るな

そういえば
僕さ



おい...



なんだ



今
好きなひと

いる…
のかなあ

